



生ゴミ堆肥で野菜づくり！ スーパーの食品循環システム

■活動時期 → 毎日（5～9月はクールビズ期間）

■活動場所 → フジグラン野市店

■主な活動メンバー→ 社員

【ホームページ】

<http://www.the-fuji.com/>



（取り組み内容）

◆食品循環型システム

フジグラン野市店では、地域の野菜生産者（室戸ふれあいエコファーム）と協力して、野市店で発生する生ごみを堆肥化し、それを利用する仕組みを整えている。

- ① 野市店で発生した生ごみを処理機に投入
（異物は全て手作業で取り除く）
- ② 3～4時間で堆肥化
- ③ 地域の野菜生産者へ送付
- ④ 生ゴミ堆肥で野菜栽培
- ⑤ その野菜を野市店に仕入れて販売
- ⑥ ①へ戻る

生ゴミ肥料で栽培した
野菜の生産量と仕入れ量の一例

【大根】 20t/年の生産 0.1t を仕入れて販売。

【バレイショ】 25t/年の生産 0.2t を仕入れて販売。



生ゴミ処理機



完成した生ゴミ堆肥



生産農家のみなさん



生産された野菜



(うれしかったお話)

- ・自分の所で出たゴミが肥料になり、その肥料で作られた野菜が野市店で売られること！
- ・お客さまからのリサイクルによる高い評価を頂いた時！

◆店舗での取り組み

- ・レジでマイバック持参された方には「エコポイント」を付けている。
- ・冷房は店内温度が28度以上でないと付けない。
- ・5月～9月は「クールビズ」期間として、男性従業員はノーネクタイなどに努めている。
- ・環境にやさしい商品の販売、ギフト商品の簡易包装にも努めている。

◆容器包装のリサイクル

- ・お客様の協力を得て、トレイ・空き缶・牛乳パックなどの回収に努めている。
- ・衣類を仕入れた際に不要となったハンガーを県内の全店舗から野市店に集めリサイクルへ回している。

◆各種イベントへの参加

- ・温暖化対策として四国で実施された「ムーンライト SHIKOKU」に参加し、指定日の午後8時以降は店舗屋上にある広告塔照明の消灯に努めた。

◆フジ社員の心がけ

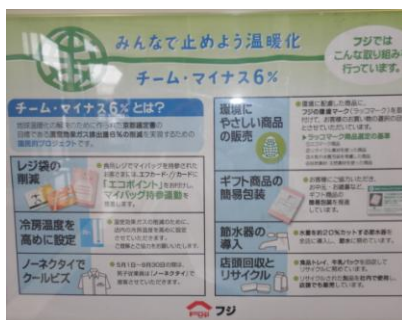
フジグラン野市店では節電、節水に努め、社員は買い物の際はエコバッグを持参するよう、通勤は車に乗らず、徒歩や自転車で通勤するように心がけている。



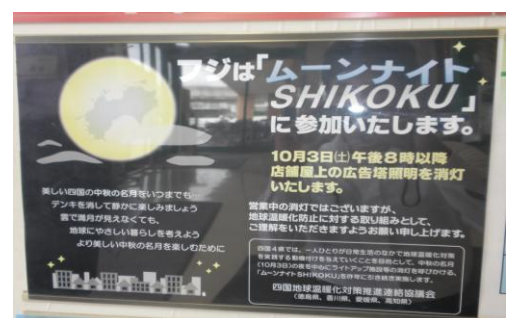
トレイ回収ボックス



フジのリサイクルと圧縮した空き缶



フジの温暖化防止への取り組み



イベントの案内

◆取り組みを進めるためのポイント

地域社会に貢献し、地域の人たちと協力し、地球のために努めていくことが必要！

◆県民の皆さんに一言

エコに対する意識を持ち、全体での取り組みにご理解、ご協力をお願いします！

(平成21年10月現在)